

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-14659(P2007-14659A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2005-201170(P2005-201170)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機前面部にて遊技媒体を貯留する貯留部と、該貯留部に遊技媒体を排出する排出機構と、該排出機構による遊技媒体の排出を制御する排出制御基板と、該排出制御基板に対して貸出制御信号を出力することにより前記排出機構を介した遊技媒体の貸し出しを制御させる貸出制御装置と、前記排出制御基板に対して払出制御信号を出力することにより前記排出機構を介した遊技媒体の払出を制御する主制御基板とを備えた遊技機において、

前記主制御基板と前記排出制御基板とを、少なくとも第 1 信号線及び第 2 信号線により接続し、

前記排出制御基板は、

前記排出機構に関して予め設定された少なくとも 2 種類の排出側異常のいずれかが発生したか否かを判別する排出異常判別手段と、

前記貸出制御装置に関して貸出側異常が発生したか否かを判別する貸出異常判別手段とを備え、

排出異常判別手段により排出側異常が発生したと判別された場合には前記第 1 信号線を介して異常信号を出力し、貸出異常判別手段により貸出側異常が発生したと判別された場合には前記第 2 信号線を介して異常信号を出力するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技機前面部にて遊技媒体を貯留する貯留部と、該貯留部に遊技媒体を排出する排出機構と、該排出機構による遊技媒体の排出を制御する排出制御基板と、遊技機とは別体の貸出制御装置に対して接続され、該貸出制御装置から出力される貸出制御信号を前記排出制御基板に対して中継する貸出制御装置接続基板と、前記排出制御基板に対して払出制御信号を出力する主制御基板とを備え、

前記排出制御基板が前記貸出制御信号又は前記払出制御信号を入力することにより、前記排出機構による遊技媒体の貸し出し又は払出が行われる遊技機において、

前記主制御基板と前記排出制御基板とを、少なくとも第 1 信号線及び第 2 信号線により接続し、

前記排出制御基板は、

前記排出機構に関して予め設定された少なくとも 2 種類の排出側異常のいずれかが発生

したか否かを判別する排出異常判別手段と、

前記貸出制御装置接続基板に関して貸出側異常が発生したか否かを判別する貸出異常判別手段とを備え、

排出異常判別手段により排出側異常が発生したと判別された場合には前記第 1 信号線を介して異常信号を出力し、貸出異常判別手段により貸出側異常が発生したと判別された場合には前記第 2 信号線を介して異常信号を出力するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

前記主制御基板は、所定条件が満たされた場合に遊技の開始を許容する構成とし、該主制御基板は、前記両信号線のうち前記第 2 信号線から異常信号を入力した場合、遊技の開始を禁止する遊技禁止手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記排出異常判別手段により排出側異常が発生したと判別された場合に前記第 1 信号線を介して出力される異常信号を、異常種別に関わらず同一の信号パターンとしたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

遊技機に異常が発生した場合に異常報知を行う異常報知手段を備え、

前記主制御基板は、前記第 1 信号線を介して異常信号を入力した場合、特定の異常報知を行うよう前記異常報知手段を制御する異常処理実行手段を備え、

該異常処理実行手段は、前記第 2 信号線を介して異常信号を入力した場合も前記特定の異常報知を行うよう前記異常報知手段を制御するようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。